

清走中

～Run for trash～長野市街地編！

実施報告書

2020年8月18日

学生団体 Gomitomo

1, 実施概要・実施実績

実施概要

- イベント名：清走中～Run for trash～長野市街地編
- イベント趣旨：ゴミ拾いを通じて地元の方と交流が生まれたり、新たな友達ができたりとゴミ拾いには多くの魅力があります。しかし！世間一般でゴミ拾いは「ボランティア」とか「シニアの方がやること」だと思われている現状がありません。その既成概念を壊すべく「清走中」を企画しました。
- 開催日程：2020年7月24日（金）
- 開催時間：10：00～12：30
- 開催場所：長野市立鍋屋田小学校, 長野大通り～中央通り
- 実施内容：◆開会式◆清走中◆逃走中◆結果発表、閉会式
- 主催：学生団体 Gomitomo
- 共催：ユースリーチ
(運営主体：特定非営利活動法人長野県 NPO センター)
- 協賛：一般社団法人信州子育てみらいネット、美容室りんごの木、
一般社団法人長野「コラボレーションプラットフォーム」
みんなのテンハウ、合同会社岡木農園
- 後援：長野県、長野市、株式会社長野放送

実施実績

参加者

95人

2, 会場概要

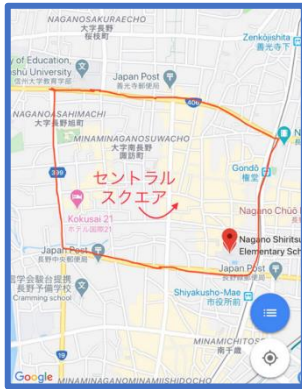


図1 清走中会場図



図2 長野市立鍋屋田小学校



図3 参加者に配布したエリアマップ①



図4 参加者に配布したエリアマップ②

3, タイムスケジュール

7月24日(金)	
9:45~10:00	受付
10:00~10:15	開会式
10:20~11:00	走掃中(ゴミ拾い)
11:00~11:10	鍋屋田小学校に集合・休憩
11:10~11:50	鍋屋田小学校にて逃走中(ゴミ拾い)
11:50~12:20	結果発表・閉会式

4, 当日の様子 (写真)



開会式の様子①



開会式の様子②



清走中の様子①



清走中の様子②



清走中の様子③



逃走中の様子①



逃走中の様子②



ハンターの様子

5, 参加者の声

ゴミ拾いは、誰もやりたくないから誰かが善意で仕方なくやるものだと思っていた。しかし清走中は、ゴミ拾いを楽しめるよう企画されていた。初対面の参加者とも、仲間として楽しみながらごみを拾うことができた。

ゴミ拾いをすることで、長野のまちが綺麗になったし、自分のとても楽しかった。後半の逃走中も久しぶりに大人子ども関係なく体を動かせたことが良かった。

6, 告知ポスター

～あなたの小さなゴミ拾いが地球を救う～



2020年7月24日(金・祝)
10:00～12:00

場所:長野市立鍋屋田小学校
対象:全年齢(親子での参加大歓迎です!)
参加費:無料

「清走中～Run for trash～」長野市街地編!
主催:学生団体 Gomitomo
共催:ユースリーチ
(運営主体:特定非営利活動法人長野県NPOセンター)
協賛:美容室りんごの木、みんなのデンボウ、
一般社団法人長野ITコラボレーションプラットフォーム



お問い合わせ
Tel:026-269-0015
Mail:gomitomo.offical00@gmail.com

申し込みはこちら!

7, ユースリーチのホームページより

ユースリーチのホームページに清走中の記事を掲載致しましたので、こちらの報告者にも記載させていただきます。（一部表現等を変えております。）

（以下本文）

『清走中開催！あなたの小さなゴミ拾いが地球を救う』

2020年7月24日（金祝）にユースリーチの環境保全分野である学生団体 Gomitomo が「Run fou trash 清走中～長野市街地編～」を開催しました。世代の枠を超え95名にご参加いただき、盛大なイベントが催されました。

まずはゴミ拾いです。参加者はそれぞれ全18グループに分かれ競い合いました。公式LINEを使用し、10分毎にクイズや写真撮影など様々なミッションが出されました。グループ内で一致団結し、優勝を目指して頑張っていました。

ゴミ拾いの最中にはハンターも出現しました。今回は本家「逃走中」とは違い、ハンターを見つけ一緒に写真を撮るとポイントが加算されるルールでした。

ゴミ拾いを無事終え再び集合場所（鍋屋田小学校）に集まりました。続いてはいよいよ「逃走中」です。子どもは、ワクワク、大人はヘトヘト、、、でしたが世代の枠を超えて全員で走りました。参加者をハンターチームと逃走者チームに分けて、4分間の鬼ごっこを4回行いました。

最後に表彰式があり、優勝チーム含め上位のチームには、協賛していただいた企業様から多くの景品をいただきました。

運営に携わった長野大学環境ツーリズム学部2年芋川史貴さんは「100近くのを動かす北村君の熱い想いと、イベントを終えた後に見せた、『清走中をやりたい!』と語っていたとき以上のキラキラした顔は忘れません。今回のイベントにより少しでも北村君の熱い想いが皆さんに伝わりますように。雨の心配もありましたが皆様のおかげで清走中を成功させることができました。ご参加ありがとうございました。」と話しています。

今回の清走中を企画運営した学生団体 Gomitomo 代表の北村優斗さんは「『ゴミ拾いの楽しさを広めたい!』その強い想いのもと、多くの方のご協力でイベントを開催することができました!小学生から社会人まで楽しくゴミ拾いができ、プラゴミ問題を知って頂けたことが何より

嬉しかったです！これからもワクワクできる企画をたくさん生み出して行こうと思います！」と語っていただきました。

最後に、今回の企画では準備段階から本当にたくさんの方にご協力いただき完成させることができました。企画段階でご意見いただいた皆様、協賛していただいた企業様、当日ボランティアで参加していただいた皆様、そして参加していただいた皆様本当にありがとうございます。引き続きご支援よろしく願いいたします。（本文以上）

8, 代表北村より

「ゴミ拾いの楽しさを広めたい」

それが「清走中～Run for trash～」の最大のミッションでした。

私自身、10歳の頃まで東京に住んでいたこともあり、幼少期から海が好きでしたが、高校生になり世界中の海がゴミだらけになっているという現状を知りました。海無し県の長野でも何か出来ないか、と考え始めてたどり着いたのがゴミ拾いでした。初めは使命感や義務感に駆られ、ゴミを見つける度に憤慨していましたが、徐々にゴミ拾いに秘められた”ワクワク”に気付くようになりました。

実はゴミ拾って超楽しいんです！！

一見手の届かなそうなところに落ちているゴミを木の枝などその場に落ちているいわば”アイテム”を駆使して拾えた時の爽快感、ゴミ拾いを通じて地元の方と交流が生まれたり、新たな友達ができたり…多くの魅力があります。

しかし！世間一般でゴミ拾いは「ボランティア」とか「シニアの方がやること」だと思われている現状があります。その既成概念を壊すべく企画したのが今回のイベントでした。

当日はなんと100名近くの清走者が集まり、合計40kgものゴミを集めることができました。また、「ゴミ拾い楽しかった！」「第2回も参加したい！」との声が多く聞かれ、”ワクワク”の持つ力の大きさを感じると共に、ゴミ拾いの楽しさを広めることが意識の向上に繋がり、海洋ゴミ問題解決の糸口になるということにも気付くことができました。

イベント開催にあたり、本当に多くの方にご助言・ご支援を賜りました。代表して御礼申し上げます。これからも、多くのワクワクを発掘していけるよう、邁進して参ります。本当にありがとうございました。

以上で報告とさせていただきます。